



# 美しい音を求めて・・・

## ノン・レガートからレガートへ

ロシアからは多くの大ピアニスト達が生まれていますが、彼らはどのようなピアノ教育を受けて育ったのでしょうか？  
ロシアの子供達が使用しているピアノ教本を使って”美しい音”を響かせましょう！

### ◆ 講座内容 ◆

#### 1) ロシア奏法について

- ・大きな特徴である「レガート」「ピアノッシモ」の美しさを追求し、音楽がつながって歌になるように演奏することを目指します。
- ・もうひとつの重要な要素である「ペダリング」にも繋がる基礎づくりを、子供のころから学びます。

#### 2) 『はじめの一步』について

- ・ノン・レガートからはじめ、しっかりとした手のかたちを作り上げ、その上でレガートを小さいころから徹底して体得。
- ・「手首をあげて」ではなく「手の甲をあげて」と表現し、これまでとは違う意識づけによりフレーズを引き出します。
- ・「<アクティブ>に指を動かすとは？」  
美しいレガートにつながる大切な要素を説明します。

#### 3) レッスンでの指導

各巻の中で重要なポイントを数曲取り上げ、指導のコツをご紹介します。

《参考教材》 「ロシア奏法によるピアノ教本 はじめの一步①②③」

参考：「はじめの一步 曲集」（以上、音楽之友社）

※当日会場でも販売致します。

### ◇ 講師 ◇

平野 智子先生



桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業。1996年よりパリ・エコール・ノルマル音楽院に留学。同院ディプロマ及び同院最高過程修了。

97年ブーランク国際コンクールにてディプロマ賞受賞。98年サンノム・ラ・ブルテッシュ国際コンクールにてディプロマ賞受賞。同年パリ・シテ・デ・ザールのコンサートホールにてリサイタルを行う。2001年ピュレンヌ・シュール・セーヌコンクールにて第2位入賞。01年から07年まで毎年フランスにてソロおよび室内楽のコンサートを開催。

2001年帰国後、セントラル愛知交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団、アロマ室内管弦楽団と共演。第4回クラスノヤルスク環太平洋アジア国際音楽祭(ロシア)招聘出演するなど、ソロ、室内楽において演奏活動を行っている。これまでに故、栗原一身、佐野翠、故松岡貞子、村手静子、中沖玲子、V・サハロフ、J・ラギヤルド氏に、室内楽を故三善晃、原田幸一郎、N・パタルセック氏に師事。



日時：2020年 **2月12日** (水) 10:00～12:00

会場：カワイ名古屋 コンサートサロン「ブルー」

名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル 2階

(名古屋市営地下鉄東山線・名城線 栄駅 3番出口より テレビ塔方面へ徒歩1分)

☎052-962-3939 (10:00～19:00※月曜定休)

受講料：音研会・ピティナ名古屋栄支部会員・カワイ講師 2,500円

その他会員 (スコアメンバー・PTNA・JPTA・ショパン協会・ギロック協会) 3,000円 一般 3,500円

2月12日 (水) 平野智子先生 「美しい音を求めて、ノンレガートからレガートへ」 申込書

お名前

電話番号

〒

住所

※会員区分に○をつけてください。

カワイ講師 ・ 音研会 ・ ピティナ名古屋栄支部会員 ・ スコアメンバー ・ ピティナ ・ JPTA ・ ギロック協会 ・ ショパン協会